

高齢者及び地域コミュニティ対策について

住み慣れた地域で暮らし続けるために：
「長崎版地域包括ケアシステム」の構築

【趣旨】
人口減少、少子高齢化の急速な進行により、孤独死、認知症関連や家族介護者の事件が顕在化するなど社会全体の問題となってきたおり、市民の暮らし・生活に直結する高齢者・地域コミュニティ対策における、長崎市の現状・課題と今後の方向性、取り組みについて協議する。

【目的】
在宅医療や介護サービスの提供体制を整備され、地域での健康づくりや生きがいづくり・見守りや支え合いが充実した暮らしやすいまちづくりを進めることで、定住人口の維持を図る。



長崎市の現状・課題と今後の方向性

- 現状**
- (1)人口構造等の変化
⇒総人口の減少
⇒後期高齢者・高齢者世帯・一人暮らし高齢者の増加
 - (2)認知症高齢者の増加
 - (3)要支援・要介護認定者の増加
 - (4)医療費・介護給付費の増大
 - (5)地域医療構想と医療提供体制の変化
⇒病床数の減・看取り難民の増加・在宅医療への転換
 - (6)介護人材の不足
 - (7)地域のつながりの希薄化 など

課題
病気や介護が必要になっても、安心して住み続けられる地域づくりや体制が必要

地域包括ケアシステムの構築

長崎市が目指す方向性		
	2025年の目指す姿	目指す方向性
基盤整備	住み慣れた地域で、安心して生活できる住まいを基盤とし、医療・介護・介護予防・生活支援を受けながら生活を送ることができる	行政をはじめ、市民・各専門職・関係機関それぞれが役割を持って地域包括ケアシステムの構築のために取り組みを進める
医療	医療ニーズが高い状態であっても、在宅等で医療が受けられる	在宅医療の充実と多職種連携、在宅等での看取りの推進
介護	自立支援を基本とした必要な介護サービスを受けることができる	必要な介護サービスが受けられる体制の構築と、介護者への支援、生活リハの充実
介護予防	高齢者自身が積極的に健康づくりや介護予防に取り組むことができている	生きがい対策と効果のある介護予防の提供
生活支援	地域で孤立することなく、日常生活を送るのに、必要な生活支援が受けられる	見守り等、地域主体の支え合いの体制構築
住まい	住み慣れた地域で、高齢者の心身や希望に応じた安心して生活できる住まいを確保することができる	選択可能な住まい方と安全な住まい方

地域包括ケアシステム

◇団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。**

◇今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。

◇人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**

地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作りあげていくことが必要です。**



やさしい街づくり / 元気な長崎!

長崎市議会議員



いづわ清隆 だより 第58号

平成28年11月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：板山 孝宏 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032

晩秋の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお慶び申し上げます。

住民投票条例否決

9月1日と2日に開催された環境経済委員会において「長崎市公会堂の解体中止と再使用に関する住民投票条例について」審議を行い、委員会では請求の要旨に「新しい代替え施設が実現するまで公会堂の解体を中止し再使用」「解体せずに永続的に使用」「市庁舎の建設場所は現在地か県庁舎跡地」の3つの内容が含まれており、市民に対して明確に何を



筑後町の「龍踊り」

問うのか曖昧な内容であり、約一億円もの市民の血税を投入するには住民投票になじまないとの意見が出され、委員会では全会一致で否決となりました。

その後、9月9日に本会議を開催して環境経済委員会委員長より審査内容を報告して、賛成・反対の意見がそれぞれ出され、全議員(除く議長)採決の結果、委員長報告に対して賛成(30名)、反対(9名)で住民投票条例は否決となりました。

又、「工事の請負契約の締結について(旧長崎市公会堂解体工事)」において、解体工事で長崎市と業者選定を結ぶ契約議案で規定を守らずに入札していたなどの理由で委員会では否決となり、本会議でも全会一致で否決となりました。

「市民体育・レクリエーション祭」に出場しました

長崎市は毎年、体育の日に「市民体育・レクリエーション祭」を開催しています。今年10月10日(月)に各会場で39競技を実施しました。私は3年前から長崎市ボウリング協会の会長を拝命して以来、競技会長としてボウリング競技の開会式・閉会式に参加していましたが、前会長から競技を盛り上げる為に出場しようかと声をかけられ、チーム戦は1チーム3名の構成となるので支部長・前会長と一緒に出場しました。全体の参加者は53チーム・159名で中学生から80歳代の幅広い年齢層となっています。競技は予選(6ゲーム)、決勝(2ゲーム)で私は今まで最高で2ゲームしか投げた経験がなく、前半



の3ゲームで太ももは痛くなり、後半3ゲームでは腕が張り、手に力がなくなりましたが、どうか6ゲーム完投することが出来ました。(成績は報告を控えておきます。)

役員の方々に閉会式後に、翌日は全身痛くなるよと言われ、その通りとなりましたがボウリング愛好家の皆さんと一緒に競技を楽しめたことは良い経験となりました。

来年は、日程が合えば長崎市会長杯にも参加しようと思っています。(当然練習しなければなりません)

今後も全力で頑張ります

「安全で安心して生活できる環境づくり」に向けて諸活動を積極的に行っていく決意です。
皆様方にはさらなるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。
長崎市議会議員 五輪 清隆



補正総額約16億8,995万円 (特別会計含む)

・26の議案を可決・同意!

平成28年9月議会

平成28年第4回長崎市議会定例会は、9月1日から21日までの21日間の日程で開催されました。今議会の補正予算は、旧ながさき式見ハイツの耐震補強工事費3,040万円、1. 2歳の乳幼児に対するB型肝炎予防接種費2,744万円、多言語版の交通マップ及び観光案内ホームページ作成費1,388万8千円など一般会計予算13億5,679万円や、特別会計予算3億3,316万4千円が上程され可決しました。

条例改正では、長崎市立学校通学区域審議会において調査審議する「長崎市付属機関に関する条例の一部を改正する条例」、本市における産業の振興及び雇用機会の拡充を図るため「長崎市企業立地奨励条例の一部を改正する条例」、人事・その他など26議案を可決・同意しました。

併せて、平成27年度各会計決算議案15件が閉会中の各常任委員会に付託されました。

補正予算の主な内容

◆耐震化推進事業費

：3,040万円
「旧ながさき式見ハイツ」について、耐震補強工事を行うもの。

・事業期間 平成28年度～平成29年度
旧ながさき式見ハイツ

◆原爆資料保存整備費

：76万4千円
枯死が確認された長崎市被爆建造物等Aランクである城



保存される「カラスザンショウの樹」

山国民学校カラスザンショウについて、現地で樹木の形状と被爆のこん跡を残していくための保存整備に係る経費を増額するもの。

・当初予算額 180万7千円

◆障害者福祉施設整備事業費補助金

共同生活援助事業所設備
：641万4千円
共同生活援助事業所におけるスプリングラー設備の整備に對して助成するもの。

・対象施設 3ヶ所(古賀町)
・補助基本額 スプリングラー設備 19,000円/㎡
・補助率 3/4
共同生活援助事業所設備

◆高齢者福祉施設整備事業費補助金

有料老人ホーム設備
：395万1千円
有料老人ホームにおけるスプリングラー設備等の整備に對して助成するもの。

・対象施設 2ヶ所(銭座町、東町)
・補助額 スプリングラー設備 9,260円/㎡
自動火災報知設備 103万円/施設
消防機関へ通報する火災報知設備 31万円/施設

◆児童福祉施設整備事業費

三和地区保育所用地代替駐

車場……………560万円

三和地区の市立保育所を民間移譲することに伴い、建設用地を三和行政センター駐車場に確保するため、その代替駐車を整備するもの。

・駐車台数 52台分

◆予防接種費

幼児B型肝炎予防接種費
：2,744万円
B型肝炎予防接種について、定期接種の対象外となる1歳児、2歳児に対して、任意接種にかかる費用の一部を助成するもの。

・対象者 平成26年4月1日から平成28年3月31日まで生まれの幼児(1歳児、2歳児)(3回接種)
・期間 平成29年1月～平成29年12月(予定)
・自己負担額 9,000円(1回あたり3,000円)

◆国際観光推進費

外国人観光客受入環境整備費
：1,388万8千円
外国人観光客の公共交通機関における利用実態調査を行うとともに、多言語版の交通

市民クラブ平成29年度政策要求!

市民クラブは10月6日、中・長期的視点に立ち、新規・継続見直し要求も含め8分野98項目の政策提言を取りまとめ、田上市長に対し「平成29年度政策要求」を行いました。また、「平成29年度予算で取り組むべき重点課題」22項目について、市長・担当部局に対しその実現を図られるよう強く要請しました。

平成29年度予算で取り組むべき主な重点課題

◆長崎市新市庁舎建設基本計画の基本設計や建設工事については、早急に予算や条例を提案し対応すること。

◆大型事業(長崎駅周辺整備、端島(軍艦島)整備など)について、事業計画、施設整備や事業費など、特別委員会の答申も踏まえ、十分に精査して関係先や議会に適宜報告し対応すること。

◆公会堂廃止後の文化施設については、公会堂機能を有する施設となるよう県との協議に臨み、県庁舎跡地活用の結論を早急に出すこと。

◆保育サービスの充実の為、待機児童0(ゼロ)の実現並びに民間保育士の待遇改善策を講ずること。

◆将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・推進すること。また、企業誘致についても県と連携を図り、正規雇用の拡大に向けて取り組むこと。

◆JR西側の交流拠点施設の検討にあたっては、新長崎駅周辺の全体構想を含め、JR九州と協議を行い慎重に対応すること。

◆長崎市空家対策計画の策定にあたっては、地域住民の安心・安全を主眼に置き、行政代執行も含めた実効性のあるものとなるよう取り組むこと。



マップ及び観光案内ホームページを作成し、公共交通機関の利用促進を図るもの。

◆イベント共催費負担金
長崎ランタンフェスティバル
事業共催費負担金
：158万7千円
長崎ランタンフェスティバルの集客目標数100万人を達成するため、特別イベント及び点灯時間の延長を行うもの。
当初予算額 9,310万円



再整備が行われる「中央公園」

◆公園施設整備事業費

中央公園 : 5,070万円
中央公園において、SLの老朽化に伴う利用者の安全性確保にあわせ、イベントの利便性向上を図るため、再整備を行うもの。

◆消防施設整備事業費

防火水槽整備ほか
：1,320万円
中央公園に設置している老朽化した防火水槽について、公園の整備にあわせ整備する経費を増額するもの。

・防火水槽40t級 1基
当初予算額 830万円

◆小学校整備事業費

小島小取付道路
：820万円
小島小学校について、国道からの取付道路等の整備のため、学校用地の新規取得に向けた調査等を行うもの。

・用地測量、建物調査、土地鑑定評価